

# 動脈産業と静脈産業の連携による サーキュラーエコノミーの加速に向けて

- ◆ 我が国におけるサーキュラーエコノミー（CE）については、すでに様々な取り組みがはじまりつつある。廃棄物資源循環学会では、循環経済協調イニシアティブを設置し、学会学術委員会の元に各部会を緩やかに連携し、本テーマに係るセミナーや研修会を今後継続的に開催する予定である。
- ◆ 本セミナーでは、CEに関する最新の取り組み状況を俯瞰するとともに、サーキュラーチェーンに関わる各プレイヤーからみた方向性や課題を共有し、今後の連携に向けた相互理解醸成を図りつつ、3Rと経済的側面・社会的側面を統合し、2050年の循環型社会に向けてどのようにサーキュラーエコノミーを加速していくべきかを考えていく。

日時

2024 / 2 / 6 (火) 13:15~17:30

開催方法

ハイブリッド開催

定員

- ・ WEB Zoom Webinars 定員 300名
- ・ 会場 AP新橋3階 Bルーム 定員 40名(先着順)

参加費

- 正会員 : 3,000 円
- 市民会員 : 3,000 円
- 学生会員 : 3,000 円
- 賛助会員 : 5,000 円
- 公益会員 : 5,000 円
- 非会員(一般) : 10,000 円 ※自治体職員は無料

申込方法

詳しくは学会HPをご覧ください。  
URL : <https://jsmcwm.or.jp>

一般社団法人  
廃棄物資源循環学会

〒108-0014  
東京都港区芝5-1-9 豊前屋ビル5F  
TEL: 03-3769-5099  
E-mail : [jimu@jsmcwm.or.jp](mailto:jimu@jsmcwm.or.jp)



# - プログラム -

司会・進行： 埼玉県環境科学国際センター 磯部 友護

|              |   |  |
|--------------|---|--|
| <b>13:15</b> | <b>開会挨拶</b>   | 大迫 政浩<br>(一社) 廃棄物資源循環学会 会長<br>(国研) 国立環境研究所 資源循環領域 領域長                        |
| <b>13:20</b> | <b>基調講演1</b>  | 環境省におけるCEに向けた取組み<br><br>近藤 亮太 環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室<br>兼循環型社会推進室 室長       |
| <b>13:20</b> | <b>基調講演2</b>  | 成長志向型の資源自律経済戦略の実行に向けた取組について<br><br>吉川 泰弘 経済産業省 産業技術環境局<br>資源循環経済課 総括補佐       |
| <b>13:20</b> | <b>基調講演3</b>  | 「第3期SIPサーキュラーエコノミーシステムの構築」についての紹介<br><br>伊藤 耕三 東京大学大学院新領域創成科学研究科<br>物質系専攻 教授 |
| <b>15:00</b> | 休憩 (10分)  |  |
| <b>15:10</b> | <b>事例紹介1</b>  | 廃棄物処理業者におけるサーキュラーエコノミーへの取組みと課題<br><br>今井 麻美 (株) 富山環境整備<br>イノベーション事業部 次長      |
| <b>15:10</b> | <b>事例紹介2</b>  | 埼玉県のサーキュラーエコノミー関連施策について<br><br>尾崎範子 埼玉県 環境部資源循環推進課 課長                        |
| <b>15:10</b> | <b>事例紹介3</b>  | 循環ビジネスが考えるCE促進のための情報共有システム<br><br>松崎 飛鳥 (株) JEMS<br>サーキュラーエコノミー事業部 部長        |
| <b>16:30</b> | 休憩 (10分)  |  |
| <b>16:40</b> | <b>総合討議</b><br><br>ファシリテーター：橋本征二<br>立命館大学理工学部環境都市工学科 教授 |  |
| <b>17:25</b> | <b>閉会挨拶</b>   | (一社) 廃棄物資源循環学会 理事<br>吉岡 敏明 東北大学大学院環境科学研究科<br>自然共生システム学講座 教授                  |